

## 福島国際研究教育機構の理事長となるべき者の指名 について

本日(令和4年7月22日)付で、福島復興再生特別措置法に基づき、福島国際研究教育機構の初代理事長となるべき者として、金沢大学学長等の要職を歴任されてきた山崎光悦氏が主務大臣(内閣総理大臣)により指名されました。



本機構は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指すものです。

(令和4年6月17日に、本機構の設置を規定する福島復興再生特別措置法の一部を改正する法律が施行され、令和5年4月の設立を予定しています。)

この機構を実現するため、機構が行う事務及び事業に関して高度な知識及び経験を有する者等のうちから、理事長となるべき者を指名することとしています。

山崎氏は、機械工学を専門とし、材料力学や設計工学を中心に最適化研究の第一人者であり、長年に亘り金沢大学で研究活動に従事された経験を有するとともに、平成26年4月から令和4年3月までの8年間において、同大学学長として大学運営を統括された実績があります。

同大学学長としての在任中、優位性のある研究分野の伸長と分野融合研究の進展を両輪として研究力強化を進め、「ナノ生命科学研究所」が地方中規模大学として唯一「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」に採択されたほか、全学的な国際化を推進し、「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されるなど、同大学における様々な改革を主導されました。

また、令和元年6月から令和3年6月までの2年間において、一般社団法人国立大学協会の副会長を務め、国立大学法人ガバナンス・コードの取りまとめなど、我が国の国立大学の改革に向けて、貢献されてきました。

さらに、一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会の会長(代表理事)として、その前身組織を含む7年以上にわたり、研究活動の活性化やマネジメントの強化を支援する人材の育成や認定制度の創設などについて、主導されてきました。

山崎氏の就任により、研究者としての経験・知見と国立大学学長としてのマネジメント能力等に基づき、世界に冠たる機構の実現に大いに貢献していただけるものと期待しています。

### 【問合せ先】

復興庁 福島国際研究教育機構設立準備室  
江口(えぐち)、石田(いしだ)  
電話：03-6328-0264

## 略 歴



やまざき こうえつ  
山崎 光悦  
昭和26年12月19日生

- |       |    |  |
|-------|----|--|
| 昭和45. | 3  | 富山県立福野高等学校卒業   |
| 49.   | 3  | 金沢大学工学部卒業  |
| 51.   | 3  | 金沢大学大学院工学研究科修士課程修了   |
| 57.   | 12 | 工学博士（大阪大学）   |
| 昭和51. | 4  | 金沢大学工学部助手  |
| 58.   | 8  | 金沢大学工学部講師  |
| 60.   | 6  | 金沢大学助教授  |
| 平成元.  | 3  | 昭和63年度文部省在外研究員<br>(カリフォルニア大学サンタバーバラ校) ～平成2. 1                |
| 6.    | 7  | 金沢大学工学部教授  |
| 22.   | 4  | 国立大学法人金沢大学理工研究域長   |
|       | 4  | 国立大学法人金沢大学理工学域長  |
| 24.   | 4  | 国立大学法人金沢大学理事（研究・国際担当）・副学長                                    |
| 26.   | 4  | 国立大学法人金沢大学長  |
| 27.   | 3  | 一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会（旧：リサーチ・アドミニストレーター協議会） 代表理事・会長（～現在） |
| 令和4.  | 4  | 国立大学法人金沢大学 特別顧問  |